

## 水田・里山放牧ニュースレター

## 第 4 号

2004年2月13日

発行 水田・里山放牧推進協議会

事務局 畜産草地研究所（那須）

〒329-2793 那須郡西那須野町千本松 768

TEL 0287-37-7003 FAX 0287-37-7132



大田原市琵琶池中村牧場の水田放牧

### 「牛で農地をよみがえらせよう！フォーラム2004」長野で開催される

2月3日に長野県塩尻市で「牛で農地をよみがえらせよう！フォーラム2004」が120名余の参加者のもとに開かれました。畜産草地研究所の落合飼料資源研究官から「耕作放棄地（水田・里山）放牧の利用と普及のために」という演題で、耕作放棄地（水田・里山）放牧の全国的な動きの紹介、水田・里山放牧の意義と放牧導入にあたっての留意事項が話されました。

滋賀県の農業総合センター農業試験場湖北分場の山中さんから「牛放牧による獣害対策と地域にもたらす効果」という演題で、滋賀県木之本町の不耕作農地への牛の放牧によるさまざまな効果について実践例が紹介されました（次ページで詳しく紹介）。

九州沖縄農業研究センター栄養生理研究室の常石さんより、「牧草多給の牛肉は栄養学的に優れている」という演題で、放牧や、粗飼料多給でゆっくり発育させた牛肉には体内の脂肪酸を燃焼させる効果のあるカルニチンというペプチドが多いこと、脂肪中には共役リノール酸という健康に良いといわれる脂肪酸が多く含まれることなどが紹介されました。

さらに、平成15年に開田村および須坂市で実施された耕作放棄地への放牧の取組みについて畜産草地研究所山地畜産研究部の手島さんや、農協職員より紹介されました。

畜産草地研究所と長野県と地元農協が協力して進めたことによる成果で、今後長野県内各地に広まることが期待される。

### 那須地域放牧利用研究会研修会

1月23日、畜産草地研究所（那須）GGホールで那須地域放牧利用研究会研修会が開かれ、畜草研草地管理研の山本室長より「放牧草地の造成・維持管理技術」、飼料調製研の蔡室長より「畜草1号を利用した高品質稲わらサイレージの調製」の講演がありました。

北関東における水田・里山放牧地造成のための播種草種の組み合わせ例：

オーチャードグラス 2.0kg / 10a、ペレニアルライグラス 1.0kg / 10a、

トールフェスク 0.5kg / 10a、ケンタッキーブルーグラス 0.5kg / 10a、

シロクロバ 0.3kg / 10a

シバ型草地造成にはセンチピードグラスの薄蒔き（1kg / 10a）が比較的低コストで楽

「畜草1号」を利用した高品質稲わらサイレージの調製

- ・稲わらには付着している乳酸菌が少なく、糖含量も低いので良いサイレージができない。
- ・「畜草1号」を添加すると稲刈りの跡すぐにロールに巻いて収穫できる。
- ・貯蔵性、発酵品質、牛の嗜好性の良い良質サイレージができる。
- ・コストは120cm径のロール（400～500kg / 個）で1個あたり400円程度

牛放牧による獣害対策と地域にもたらす効果

滋賀県農業総合センター 農業試験場湖北分場 山中成元

### 1. 猪の被害がひどい耕作放棄水田



放牧前の状態

山際に広がる不耕作農地(滋賀県木之本町)



### 2. 放牧開始でみるみるきれいに

荒廃した水田跡は牛を入れるとみるみるきれいになり、集落の人が子供を連れて牛を見に散歩によく来るようになる。

それとともに猪の害が急減した。

昔牛を飼ったことのあるお年寄りがよく見に来て水の管理をしてくれた。



### 3. 地域の住民ほとんどに好評

住民アンケート結果：

獣害が少なくなって良かった	41 %
地域の憩いの場ができた、活性化した	34 %
景観が良くなった	15 %
畜産公害悪臭問題が心配	11 %

その後、不耕起水田の一部が再び耕作されるようになった。



## 開田村および須坂市における耕作放棄地放牧の取組み

畜産草地研究所 山地畜産部 手島茂樹

### 1. 木曾郡開田村

水田跡：約 52a ススキが主な植生

入牧期間：15年7月31日～9月12日（43日間）

入牧牛：山地畜産部の繁殖和牛（放牧経験牛、妊娠牛）2頭

その後地元の農家が引き続き自分の繁殖牛2頭を40日間放牧

費用：牧柵材料費20万円、電気牧柵器（ソーラーパネル込み）68,000円、

飲用水タンク（500ℓ）3万円、飲水器（自作）8千円



牧柵設置のための刈り払い



退牧時の様子

### 2. 須坂市

畑跡（前作は飼料用トウモロコシ、野菜）：約 38a オオブタクサが主な植生

入牧期間：15年9月2日～10月9日（37日間）

入牧牛：山地畜産部の繁殖和牛（放牧経験牛、妊娠牛）2頭

地域の反応：「脱柵しないなら良い」 新たに放牧して良いという申し出あり。



放牧前



放牧後

水田・里山放牧推進協議会第4回情報交換会！

3月5日（金）13時より畜草研（那須）GGホールにて開催。

テーマは放牧牛の病気と健康。

## 各地域情報

関東東海北陸農業推進会議畜産草地部会で報告された各地域における水田・里山、耕作放棄地放牧の取組み

### [茨城県]

耕作放棄地面積 12 千 ha。平成 14 年度から茨城県畜産センター肉用牛センターが事務局となって「耕作放棄地繁殖和牛放牧利用技術検討会」(構成メンバー：肉用牛センター、茨城県県北地方総合事務所畜産振興課、農業改良普及センター、市町村、農協)を設置。県単事業「いばらぎ農業元気アップチャレンジ事業」を活用し、平成 15 年に 20a (もと畑) 30a (もと水田) の耕作放棄地にセンターの牛を放牧。さらに放牧事例が増える見込み。

### [栃木県]

現在、約 20 戸の農家が小規模移動放牧に取り組んでいる。さらに二十数戸が関心を持っている。12 月に那須地域放牧利用研究会が設立された。

### [神奈川県]

畜産試験場で耕作放棄地に適した草種を検討中。

### [岐阜県]

大野郡丹生川村で、3 戸の農家が 4ha の耕作放棄地を 800m の電気牧柵で囲って繁殖和牛の馴致放牧や短期放牧に利用している。

吉野郡国府町や金山町では、各 3 戸の農家がそれぞれ里山を利用して牧草地 1.4ha やシバ型草地 3.3ha で繁殖和牛の放牧を行っている。

### [三重県]

普及センターが中心となって肉用育成牛、乳用育成牛の放牧を検討している。

### [富山県]

東部の立山町 2 地区で雑草繁茂により景観不良が問題となっていた耕作放棄田で放牧実証が行われている。 ・面積：4ha ・実施主体：立山放牧組合 ・放牧方法：数筆の水田を利用した粗放林間放牧。 ・牛群：黒毛和種繁殖牛(妊娠牛中心) 8 頭。 ・放牧期間：5 月下旬(一部 7 月上旬から) ~ 10 月下旬。

富山県農業技術センターではセンチピードグラスを放牧用草種として検討中

### [石川県]

牛舎から 2km 離れた丘陵地を草地化して妊娠牛 5 ~ 6 頭を定置放牧している農家が 1 戸ある。

水田・里山放牧推進協議会のホームページ、メーリングリストができました！

これまでのニュースレターが見れます。

メーリングリストに入ると参加者同士の情報交換ができます。

ホームページのアドレス：<http://houboku.ac.affrc.go.jp/>

メーリングリストへの参加方法：[furukawa@affrc.go.jp](mailto:furukawa@affrc.go.jp) 古川までメールをお送り下さい。

連絡先：栃木県那須郡西那須野町千本松 768 畜産草地研究所 研究交流調整官

TEL 0287-37-7003 e-mail:[furukawa@affrc.go.jp](mailto:furukawa@affrc.go.jp)  
ニュースレターの内容を転載する場合は事務局の許可を得て下さい。